

小林郊人 こばやし けいじん 郷土史家、俳人。明治二十四年五月五日長野縣生れ、  
 昭和四十四年五月四日歿（二八九―一九九）。本名保一。別號白夜。逸信  
 講習所卒。銀行員、圖書館勤務など。俳句は白田亞波（師專）、俳誌  
 『石楠』、『科野』等の同人となる。信濃俳諧史研究の第一人者。  
 著書『蛛袖河嶺』（昭和十二年四月十日長野・信濃郷土出版社）、『信  
 濃の俳人』（昭和十九年五月十五日木村書店）、『信濃農民史考』（昭  
 和二十一年四月一日長野・信濃毎日新聞社出版部）、『信濃俳壇史』  
 （昭和二十一年五月十日長野・信濃郷土誌出版社）、『一茶とその前  
 後』（昭和二十一年二月二十五日長野・信濃郷土誌出版社）、『矢暮』  
 矢暮』（編、昭和二十六年八月十五日長野・甲陽書房）、『八葉蕉雨  
 （再版・増補改訂）』（編、昭和二十一年六月十五日長野・信濃郷土  
 出版社）等。

